

12月9日に与論中学生の総合的学習として、町内25か所で働く方へのインタビューが行われました。学習の目的は、働くことへの意義や職業に対する意識の向上、自分の将来について考えることです。与論町役場と与論こども園にインタビューに来た中学生に話を聞いてみました。

「仕事をしていて楽しいことや辛いことは？」「何のために仕事をしていますか？」など、中学生の純粋な質問に、大人になると忘れてしまいがちな「働くこととは？」ということのを再認識させられました。



役場では、6名の中学生が商工観光課の松村さんに質問しました。

インタビューを終えて、「役場の仕事がよく分かって勉強になった。町民のためにする仕事は大変だなと思った。」「松村さんがおっしゃっていたように、何でもいいから自分がなりたいものや、やりたいことを想像していきたい。」「将来に役立てたい。」などと感想を述べてくれました。

与論中1年

町田さん、涉くん、喜村くん、山下さん、増尾さん、豊山くん



与論こども園では、4名の中学生が園長の林さんに質問しました。

0歳～5歳までの小さな子ども達を安心し怪我をさせないように注意するのは、責任がありとても大変な仕事だと感じたり、自分は子どもが好きなので池田さんのように将来は働きたいなどと感想を述べてくれました。

与論中1年

益田くん、山下くん、岡田さん、光さん

エッセーコンクール銀賞受賞！

大阪経済大学主催のエッセーコンクール「17歳からのメッセージ」で、与論高校2年生の池上奈津美（いけのうえなつみ）さんが銀賞を受賞しました。池上さんに作品のことなどを聞いてみました。

Q. 受賞したときはどんな気持ちでしたか？

先生から呼ばれた時には、まさか受賞の知らせだとは思っていなかったのですが、大変驚きましたが嬉しかったです。普段は本もあまり読まないのでも、両親も不思議がっていました。

Q. エッセーのテーマは？

自分が今思い悩んでいることを書こうと思い、「島立ち」をテーマに「ワーチャガコンヌ」というタイトルで書きました。

池上 奈津美さん



立長の山田隆満さんの次女。サッカー部のマネージャーを頑張っているそうです。

Q. エッセーの内容を大まかに教えてください。

遊ぶところのない与論が嫌いでしたが、高二になると「あと2年しか与論にいられない」と考え始め寂しくなってきました。一度島を離れて都会暮らしをしたとしても、必ず与論に帰ってきてのんびりと親孝行をしながら暮らしたいです。

「この島に生まれてよかった」と思える、私の自慢できる日本一の素晴らしい島だから。

Q. 将来はどんな与論になっていたら嬉しいですか？

今のままがいいです。

遊ぶ場所が増えたらいいのと思ったこともあったけれど、今のままの与論であってほしいです。

